

のようなお話はあっておりませんが、建設業協会といたしましては、先ほども申しましたように、できる限り地元でできるものは地元で発注をしてほしいというような要望は承っております。

○議長（小川 廣康君） 2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） 私のほうからは、商工会員の方からひとつ何とかそのあたりで市長さんのほうに確認じゃないですけど、質問のすべをお願いしたいということで、今回、このような形になっておりますので何も他意はございません。

なおかつ地方自治法を逸脱するようなことは一切お話ししません。これがあつたら大きな問題になりますので、そのあたりが逸脱しないような方向で今後も進めていただければと考えておりますので、ひとつよろしく、皆さんのいろんな悲鳴を少し聞いてあげておりませんか、もし機会がございましたらです。

本日は2点ほどで、ある程度、1点目は少し可能性、方向性ができたということで、これで安心いたしました。

入札管理につきましては、そういった市内登録事業者の声として、ひとつ私が代弁したということで御理解いただければと思っております。

ある程度結果が出たということで、時間は早うございますが、私の質問は終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） これで、伊原徹君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 昼食休憩といたします。再開は午後1時ちょうどといたします。お疲れさまです。

午前11時45分休憩

午後1時00分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

午前に引き続き市政一般質問を行います。

10番、小田昭人君。

○議員（10番 小田 昭人君） こんにちは。

ことしの漢字一文字は、災害、災難の「災」が昨日選ばれました。ことしは特に地震をはじめ、台風・大雨による土砂崩れ等が日本各地を襲いました。

犠牲になられました方々の御冥福をお祈りするとともに、一日も早い、災害に遭遇されました各地域の復興・復旧を願うものでございます。

本日最後の質問者となりました、会派、清風会の小田です。私からは、大きく分けて4つの質

問をさせていただきます。

1つ目は、対馬市のイベントについて質問させていただきます。

まず、海道音楽祭について質問をいたします。

昨年は、担当職員もいろいろと趣向を凝らしまして、毎年夏に開催していました音楽祭を夏から春へ、そして場所もグリーンパークからゲンカイツツジの眺められるあそうベイパークへと変更して開催されました。

担当職員の努力も実らず、観衆は211名との報告を受けました。対馬市の最大イベントとしては余りにも寂しい音楽祭で、アーティストも観衆の少なさに啞然としたのではないかと思います。

30年度も当初予算で640万円の対馬海道音楽祭運営補助金が計上されています。30年度は開催するのか、来年度以降も開催するのかどうか、あわせてお尋ねいたします。

第1回ちんぐ音楽祭がいつ開催されたか、広報みつしまを探してみました。

これが、その当時の広報みつしまなんですけど、人にはちょっと小さいから見にくいでしょうけど、実は、平成9年7月26日に第1回のちんぐ音楽祭が開催されています。

広報みつしまを拝見しましたら、「この日は関係者の願いもむなしく、あいにくの雨模様となりましたが、それでも午後6時の開演に合わせて傘を差した人々が次々とあらわれ、対馬グリーンパーク芝生広場は約1,000人の観衆で埋め尽くされました」と記されています。30年度が開催されれば、22回目の音楽祭になろうかと思えます。

次に、国境サイクリングIN対馬についてお尋ねします。

このイベントは、比田勝市長就任以来、市長の目玉イベントとして去る10月14日に第2回目が開催されました。

広報つしまの11月号によりますと、「48人が出走した」と記されています。予算は30年度当初予算で、サイクリングイベント補助金507万円が計上されています。

昨年の大会を振り返って、この48人の参加をどう思われたか、市長の率直な感想をお尋ねします。

また、48人中対馬市民、韓国人は何人参加されたかをあわせてお尋ねします。

市職員を含めて約290人のスタッフがボランティアとして参加したと聞いております。警察の出動を合わせると300人以上になろうかと思えます。

次に、海洋保護区について御質問をいたします。

ことの始まりは、財部市長が漁師から大型まき網、大型底引き船をどうかしてほしいとのことからの海洋保護区問題が取り上げられたと記憶をいたしております。それから10年が経過しようとしています。

環境省も我が国における海洋保護区の設定のあり方についていろいろと研究されていますが、なかなか難しく前進していないのが現実であります。また、海洋政策研究所もいろいろと提言されているようでもあります。

対馬市は、30年10月に対馬海洋保護区しまみ管理計画を策定しています。今までの海洋保護区の考え方が前進したか、後退したかはわかりませんが、やや方向転換されたような気がいたします。といいますのも、今度のしまみ管理計画では、対馬市が目指す海洋保護区は、禁漁区域を意味するものではないとはっきり示されています。

私は、この海洋保護区について机上の空論で終わるのではと懸念をしていましたが、今後は、市長はどのように取り組まれるのかをお尋ねいたします。

海洋保護区の中の磯焼け対策は、私は絶対に必要と考えるわけですが、長崎県で対策協議会となるものが設立されているのかどうかお尋ねします。もし、組織化されていないのなら、磯焼けにあえぐ市町村が長崎圏域を越えて九州、日本全国で対策協議会なるものを組織すべきだと思いますが、国・県等に働きかける気はないか、市長の考えをお尋ねします。

産業建設常任委員会の所管事務調査報告書でも、県や大学等の研究機関ともっと連携しながら取り組むべきではないかと委員から意見があったと、大部委員長が報告なされました。また、産業建設常任委員長から先進地視察に行った下関市役所、そして山口県水産研究センターの磯焼け対策についての取り組み等が述べられています。

そして11月6日には、対馬市議会連名で中村知事に農林水産業活性化のための磯焼け対策についても要望書が提出されています。このような状況の中、早急に対策協議会なるものを組織してはとの思いで、市長にお尋ねするわけでございます。

次に、生ごみ等再生利用についてお尋ねします。

対馬市は現在、1,656世帯29事業所の協定、協力により年間252トン近い生ごみを回収し堆肥化に向けて試験的に実施していますが、30年度当初予算で生ごみ等資源再利用システム事業業務委託料として4,389万9,000円が計上されていますが、生ごみ収集業務と堆肥化業務に分けて委託料の金額をお伺いします。

また、収集業務は、厳原から上対馬まで決まった収集場所に行って根緒の施設まで運んでいるとのことですが、距離的に考えても、私は、非効率的な運営の仕方だと思います。

なぜ、近隣町の厳原町、美津島町の市営住宅、官公庁職員住宅、アパート世帯、茶屋街の飲食店は一部が協力されていると聞いていますが、近隣町に絞って協力をお願いはできないのか、市長にお尋ねします。

生ごみを安物の焼却施設で処理しなければ、電気代、灯油代がこんなに減りますと。そして、堆肥にして農家に無料で配布したいんですと。こういう説明をすれば、私は、市民は納得してく

れるものと思っております。

それから、生ごみステーションは、市が設置してはいかがでしょうか。市長にあわせてお伺いいたします。

1月2日に厚生常任委員会が鹿児島県の阿久根市に視察研修に行つてまいりました。阿久根市は、平成26年10月から生ごみ堆肥化モデル事業を開始し、26年度6地区1,524世帯から始まり、27年度、28年度と徐々に協力世帯をふやし、そして29年度、62地区9,500世帯の約2万人の協力があつて、平成29年4月から生ごみ堆肥化事業として本格的に実施しています。

比率にしますと、世帯が91.738%、人口で92.64%が協力していることとなります。収集業務委託料は年間2,200万円で、一般廃棄物収集業者に委託しているとのことであります。

堆肥をつくるのが目的ではなく、市町村における生ごみの排出量の減量を目的としており、生ごみは水分含有量が9割あるわけですから、焼却しなければ、焼却場の電気代、灯油代がおのずから減り、機械類等も傷まないと思います。

そこで、市長にお尋ねします。

対馬市の世帯数は約、今、1万5,000世帯です。この全世帯が生ごみ収集業務に協力してくれた場合、1年間の生ごみ総トン数は幾らになるのか、現在の安神の焼却場の電気代が年間約6,300万円、灯油代が約6,500万円だと思います。電気代、灯油代が年間幾ら減るのか、あわせてお尋ねをいたします。

次に、LED照明についてお尋ねいたします。

質問の趣旨は、子ども議会で、学校にエアコンの設置の質問に対して、教育長は消極的な答弁をなされたと聞き及んでいました。しかしながら、ことしの夏は近年に近い猛暑が日本列島を襲いましたし、エアコンを設置し、快適な環境のもとに勉学、そしてスポーツに取り組んでもらいたいとの思いで質問する予定をしていましたが、一般質問通告書を提出後、補正予算を見てみますと、小中学校、幼稚園等に空調設備整備工事予算が計上されていました。教育長の賢明なる判断に敬意を表したいと思います。また、さらに市長にはさらなる敬意を表したいと思います。

エアコンを設置後、全稼働することによって年間の年費代が約650万円程度アップするのではないかという、こういう報告も受けております。

私は、昨年だったと思いますが、市長に小中学校に1校LEDモデル事業、学校1校設置してはどうかという質問をしておりました。

エアコン設置は30年度予算でございますけど、繰越明許費になるものと思っております。エアコン設置と同時にLED照明も一緒にしたら、業者も電気関係業者になろうと思います。そう

することによって費用も通常より格安になると思いますが、教育長のお考えをお尋ねします。

以上です。よろしくお願ひします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 小田議員の質問にお答えいたします。

まず1点目のイベントについてでございますけれども、海道音楽祭につきましては議員も御存じのとおり、旧美津島町のころより開催しておりました、対馬ちんぐ音楽祭を引き継ぐ形で、平成27年度より対馬海道音楽祭として開催してきましたが、年々、集客も減少傾向になっているところでございます。

平成29年度につきましては、集客増を狙い、従来の8月の最終土曜日、対馬グリーンパークにおいて開催していた同音楽祭を3月24日土曜日、美津島町のあそうベイパークで開催しましたが、約210名の集客に終わっております。

対馬市では、開催経費として640万円の補助金を実行委員会に支出しておりますが、議員御指摘のとおり、国際交流イベントとしての費用対効果や野外コンサートに対する市民のニーズ等を踏まえて、中止等も含めて今後検討していきます。

次に、国境サイクリングIN対馬につきましては、行政報告で御報告いたしましたように、10月14日に3つのコースを設定し、比田勝・巖原間を疾走いただきました。

対馬の起伏に富んだ地形がサイクリストに人気で、本イベントにおきましてもタイトルを「坂・坂・坂そして坂」とし、あえてきつさと達成感を強調し、対馬の秋の景色と対馬ならではの特産品等の食を堪能していただいたところでございます。

大会へのエントリーは59名でございましたが、完走できたのは45名でございます。また大会運営には市民の皆様のボランティア等294名の方々に御協力をいただき、市民と一体となったイベントを開催することができました。

昨年、ことしと試行錯誤しながらの大会運営でございましたが、対馬の地形や景色、特産品などを活用し、また、ボランティアスタッフの充実、沿道からの市民の皆様からの御声援等が大会参加者から大変喜ばれたところで、次年度以降の大会の礎ができたものと思っております。

参加者数につきましては、まだまだ小規模ではございますが、韓国からの参加も促し、対馬市の国際交流イベントとして定着させるようじっくりと育ててまいりたいと思っております。

次に、2点目の海洋保護区についてでございますが、対馬は自然豊かな海に囲まれています。近年、対馬の水産業を取り巻く環境は、漁獲量の減少、担い手の不足、漁場の競合、海洋環境の変化など、多くの問題、課題を抱えております。

本市では、このような現状を打開するため、平成22年に漁業者、研究者、行政等関係機関で

構成する、対馬市海洋保護区設定推進協議会を設置し、対馬版の海洋保護区の設定並びに資源管理型漁業の確立を目指して取り組みを進めてまいりました。

対馬市が目指す海洋保護区は、子供たちに豊かな海を残していくため、漁業者、市民、行政等が一体となり、対馬沿岸の生態系を守っていく区域であり、漁業活動を禁止するものではなく、当該漁業者にも協力を求めながら、ともに漁業を管理していくことを目標としております。

当初は、対馬の海岸から12海里までを海洋保護区の対象海域として設定することを目指してまいりました。しかしながら、この海域は島内漁業者だけではなく島外漁業者も多く操業しており、12海里を対象海域とした保護区の設定には、島外漁業者との調整に長い期間を要し、容易なことではございません。

そこで平成28年度からは、既に国の海洋保護区の定義に合致する区域として整理されている共同漁業権海域を対象海域として考え、生物多様性の保全と持続可能な利用についてできることからスタートし、次の段階として既に漁業管理が実施されている海域や沖合海域へ対象海域を広げていくことを視野に入れ、無理のない仕組みを優先して検討することといたしました。

この方向性に基づき検討を重ね、今般、平成30年10月対馬市海洋保護区設定推進協議会委員の皆様を初め多くの方々から御指導、御協力をいただき、共同漁業権海域を対象とした対馬版海洋保護区の基本計画、対馬海洋保護区しまうみ管理計画を策定するに至りました。

また、対象海域とした共同漁業権海域に目を向けますと、近年、藻場の減少、消失が進行し、磯焼けが顕在化、深刻な問題となっております。漁場の保全・再生は対馬沿岸の生態系の維持だけでなく、対馬の水産業の再生・発展にとっても重要かつ喫緊の課題であります。

そのような状況を踏まえ、基本計画対馬海洋保護区しまうみ管理計画に基づき、2つの実行計画、磯の資源の適切な管理と利用を図るための水産資源管理計画並びに対馬沿岸の藻場の保全と再生を図るための対馬沿岸、藻場再生計画もあわせて策定しております。対馬の豊かな海の生態系を守って、持続可能で元気な漁業を確立するため、まずは磯の資源の維持・増大と藻場の保全・再生に取り組んでまいります。

先ほどの小田議員からの質問の中で、この磯焼け対策の関係で全国的な協議会はあるかという質問がありましたけども、磯焼け対策全国協議会ということで、水産庁が主体となった協議会が結成されているということをお聞きしております。

次に、3点目の生ごみ等の資源再利用事業の今後の展開についてでございますけども、生ごみを含めて各家庭や事業所から排出される廃棄物の処理につきましては、対馬市一般廃棄物処理基本計画において、ごみの資源化による有効活用やごみの減量化などを推進し、資源循環型社会の形成を目指すための施策を定めております。

対馬クリーンセンター操業当初より、ごみを資源として再利用するため、市民皆様の御理解と

御協力をいただき、資源ごみの分別回収の実施によりましてリサイクルへの推進が図られているところでございます。

また、ごみの減量化の施策の一つとして、議員御質問の生ごみ等資源再利用事業を定めており、生ごみ処理施設建設後、平成27年度から本格稼働を行い、生ごみを分別収集し、それを堆肥として農地へ還元することで焼却施設へのごみ持ち込み量を減少させることを目的に取り組んでおります。

昨年度は252トンの生ごみを回収し、クリーンセンターで焼却減が実現しております。本年度の本事業に係る経費は、収集運搬業務に約3,120万円、堆肥化業務に約360万円、収集容器等の物品代といたしまして約450万円となっております。

現在、生ごみの回収には、一般家庭、事業所を含めて約1,824世帯の皆様に御協力をいただいておりますが、本市約1万5,000世帯の生ごみを全て分別収集できた場合、ごみの削減量は約1,262トンで、焼却施設に係る経費の削減額では約4,200万円という試算を出しております。

このごみの資源化及び減量化双方の取り組みは、焼却施設の経費削減と長寿命化を図るとともに二酸化炭素の排出量削減が図れる重要施策と考えております。

今後は、ごみの発生抑制や資源化を推進するために、生ごみ等資源再利用事業を継続しながら、将来的には生ごみの完全分別収集の実現に向けて、分別方法のさらなる徹底や収集体制の見直し、地域に根差した取り組み等について検討を進め、この美しい対馬を次世代に継承するために市民、事業者、行政が共同して環境の保全に努め、資源循環型社会の形成を目指していなければならぬというふうに考えております。

私のほうからは、以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 小田議員の御質問にお答えします。

小中学校のLED照明の設置状況につきましては、既存の蛍光灯照明が老朽化し、取りかえが必要となった豊玉中学校の普通教室及び特別支援教室の6教室で、全ての蛍光灯を本年7月末にLED照明に取りかえております。

確かに、LED照明は省エネで耐用年数も長いことから電気料の節約も考えられるところですが、全ての小中学校や幼稚園等の照明をLEDに変更するためには、多額の費用を必要とするため、エアコン設置やブロック塀の改修、トイレの洋式化、施設の維持補修など教育予算も年々増加していく中で、一度にLED化を進めることは大変厳しい状況だと考えております。

まずは、現在、6教室がLED照明となった豊玉中学校をモデルとして、電気料金などを比較検討するとともに、故障し取りかえが必要となった蛍光灯につきましては、随時、LED照明に

取りかえていきたいというふうに思います。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 10番、小田昭人君。

○議員（10番 小田 昭人君） それでは、順を追って一問一答でお願いをしたいと思います。

海道音楽祭については、中止も含めながら検討をしたいという市長の答弁でございましたけど、30年度もあわせて検討するという事でいいですか。

大体200人前後であれば、グランドホテル、大白館、毎年1万5,000円から1万8,000円でディナーショーをやっております。あれが200人から200人前後だと思います。それで、200名集まったとして1万5,000円で300万です。だから、グランドホテルが5,000円とすれば100万ですか飲食料として、200万が歌手と事務所に幾らか行くんでしょうから、五、六百万使えば、恐らく名の通った演歌歌手は、私は来てくれるんじゃないかと思っております。

それで、巖原、豊玉、上対馬で開催すれば、椅子を並べる必要もないし、もし、この30年度の海道音楽祭をもし中止するようになれば、平成最後の音楽祭ということで、ある程度有名な演歌歌手を呼んで、対馬市民の皆様に無料で招待してはいかがでしょうか、市長の、今ここで「はい、そうです」というわけにもいかんでしょうから、考えられるのか、「いや、ちょっと待ってくれ」と思われるのか、率直な意見をお伺いしたいと思います。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 先ほどの答弁の中で、中止も含めてたまたま検討をしていきますという答弁をさせていただきました。

まだ、実行委員会等がどのような形で、今、進めているかということは、ちょっと私のほうも詳しい情報はまだ入っておりませんので、私一人が中止してそのような方向しますとか、そういうことはここでは申し上げられませんし、このことにつきましては、やはり実行委員会の皆様とじっくり話し合いをしながら、方向性については決めてまいりたいというふうに思っております。

○議長（小川 廣康君） 10番、小田昭人君。

○議員（10番 小田 昭人君） 補助金、予算が補助金ですから、もし3月にその案外有名な歌手を呼んでやろうということになれば、ちょっと補助金ですから予算面でしにくい面も出てこようかと思えますけど、それから、国境サイクリングについて48名中、私は対馬島民が何人か、韓国人が何人参加されたかを聞いたんですが、回答がなかったものですから、再度お尋ねします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） まず、エントリー52名のうちの島外が23名でございますので、島内がここは29名、そして50キロメートルがエントリー6名のうち島内5名ということで、



34名ということで把握しております。対馬島内の参加者です。（「韓国人」と呼ぶ者あり）韓国人は、今回は、ゼロでございました。

○議長（小川 廣康君） 10番、小田昭人君。

○議員（10番 小田 昭人君） 普通の日には、韓国人は皆さん御存じのとおり、多いときは何十台も対馬を縦断されておられます。

この、参加費負担金というのはあったんですか、どうですか、お聞きします。

○議長（小川 廣康君） 観光交流商工部長、俵輝孝君。

○観光交流商工部長（俵 輝孝君） 国境サイクリングIN対馬の参加料ですけども、123キロが6,000円、それから50キロが4,000円、18キロが2,000円、総額で34万2,000円の参加料をいただいております。

○議長（小川 廣康君） 10番、小田昭人君。

○議員（10番 小田 昭人君） 最初の目的は、市長も韓国人の参加を幾らか願いがあったんじゃないかと思いますが、韓国の人はやっぱり参加料とか負担金とかいったら500円でもなかなか払いません。

私が、この507万ですか、補助金が、この中で運営されるものと思っておりましたけど、参加料をとられたという、こういう話を聞いたものですから、あえて質問をさせていただきました。

次に、海洋保護区につきましては、やや柔軟な姿勢になっております。今、全国組織はあるということを知りましたが、長崎県組織はあるんですか、市長。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 長崎県のなかでは、海洋保護区の組織はございません。

○議長（小川 廣康君） 10番、小田昭人君。

○議員（10番 小田 昭人君） 長崎県は、全国でも有名に72の有人離島ですか、72か73だったと思いますが、ぜひこれは県あたり、あるいは関係市町村と協議を持たれて、私は早急に協議会なり対策協議会なるものを組織すべきだと思いますが、市長のお考えをお尋ねします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） まず、この磯焼け関係につきまして、長崎県内の各自治体も同様、対馬市同様、大変困っているところがございますので、いろんな会議の際には、この磯焼け対策の関係について協議もいたしておりますけども、まだ、この磯焼け対策協議会というような長崎県内の協議会はまだ正式には設けられていないということで、今後は、そのような協議会の結成に向けても声を上げていきたいというふうに思います。

○議長（小川 廣康君） 10番、小田昭人君。

○議員（10番 小田 昭人君） それから、しまうみ管理計画では9種類の海藻類が挙げられておりますけど、近年、話題になりましたアカモクが、この9種類の中に入っておりません。東北ではテレビでいつか放映見ましたけど、アカモク御殿とかいうテレビ放映もあっておりました。

そして今、ネット販売、パックで随分売ってあるようにありますが、このアカモクを、今、対馬は何か生産しているのか、そういう漁業者はおられるのかどうかお聞きします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 担当部長のほうに。

○議長（小川 廣康君） 農林水産部長、西村圭司君。

○農林水産部長（西村 圭司君） 今、アカモクの件については、済みません、ちょっと私もよく調べていないんですけど、今年度、今、対馬の環境、対馬の藻場の今の状況を海の環境によって、どのような藻場が適正なのかというのを九州大学と一緒に今、今年度、委託をして研究をしているところでございますので、その辺を踏まえて、今後取り組んでいきたいと思っております。

○議長（小川 廣康君） 10番、小田昭人君。

○議員（10番 小田 昭人君） それから、生ごみについて市長に、近隣町の巖原町、美津島町、市営住宅とか官公庁職員住宅、これは回っても協力してくれないのか、いや回っていないよと言われるのか、どちらなのでしょう。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 担当部長のほうに答えさせます。

○議長（小川 廣康君） 市民生活部長、根メ英夫君。

○市民生活部長（根メ 英夫君） 生ごみの協力について団地等を回っていないのかというところでございますけれども、実は、先ほど小田議員おっしゃって、阿久根市の状況をお答えいただきましたけれども、本年度、対馬市でも巖原、美津島の中でモデル地区を選定をして進めていこうというところで、その際にも団地だとか集合住宅、アパート等が多いところを選定をして、地区に区長さんを通じて入って説明をさせていただきました。

具体的には、棧原地区については生ごみの出し方についても、また、団地の方々に説明をして協力を得たというところでございます。今後もモデル地区を選定しながら進めていきたいというふうに考えてございます。

○議長（小川 廣康君） 10番、小田昭人君。

○議員（10番 小田 昭人君） 阿久根市は、わずか3年で92%、100%にはならないんです。家庭でコンポストとか、小さい機械で堆肥にされてある家庭もありますから。

それから、1万5,000世帯が協力してくれたら約4,200万、安神の焼却場の電気代、燃

料代が減るんだと。そして今、生ごみ収集と堆肥化業務が3,120万円と360万円、大体一緒のような金額になるわけですけど、ぜひ、協力世帯をふやして押し進めていただきたいと思います。

それから、阿久根市も最初は普通の一般廃棄物と一緒に入れとったんですけど、金網ですから、生ごみの場合、金網からカラスがつついて悪臭がするとかいうことで、今、密封型の何か生ごみステーションをつくっておるそうですが、モデル地区を指定するなら、市長、市で新たな生ごみステーションをつくる計画はどうでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） このことにつきましては、部内のほうでもいろいろと検討は重ねているところなんですけども、言うように、人口の密集地域等でそのような集積場所を確保することがなかなか難しいというようなことで、これまでなかなか進まなかったということを聞いておりますので、今、担当部長が答えたようにモデル地区を選定して、その際にそのような設置する場所があるのかどうなのか、そこら辺も含めて今後の検討にしたいというふうに思います。

○議長（小川 廣康君） 10番、小田昭人君。

○議員（10番 小田 昭人君） それから、LED照明につきましては、今、教育長のほうから、豊玉中学校6教室、これも月々に去年の電気代とことしの電気代がわかると思いますので、幾ら安くなったかは一目瞭然でございますので、徐々にこのLED化の学校をもう1校ぐらい、私は小学校か中学校にモデル地区を、エアコンの設置と同時にすれば、今、言いましたように恐らく同一の電気業者と、私はエアコン設置を落札されたそこと随意契約してもいいと思うんです、ついでにです。

教育長、もう一回答弁のほうをお願いします。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 先ほども申しましたように、一度に学校につけるとなるとかなりの経費がかかりますので、今のところそういう計画をしておりません。

エアコンの設置と一緒にということですけども、またそこはちょっと検討をさせていただきたいと思います。

○議長（小川 廣康君） 10番、小田昭人君。

○議員（10番 小田 昭人君） 私が、以前ちょうどLEDができたときに質問したときの資料を見てみますと、防犯灯が22年度が対馬全体で4,634基、約、電気代が1,900万円でした。1基当たり4,300円、そして25年度が、これは1,658基増加しておりますけど、6,292基、電気代が1,760万円、1基当たり2,810円です。22年度と25年度を比較しますと、1基当たり約1,500円の減額になっております。

それから、防犯灯の修理代が全島で22年度が650万円、25年度が350万です。港とかにまだ水銀灯が若干残っておりますけど、防犯灯、街路灯はほとんどLED化になっております。

今、雷を寄せつけない避雷針といいますか、あれもついておりますので、恐らくほとんど修理代はっていないと思っております。

今度、パソコン、それからエアコンと学校関係にもお金が必要になってまいりましたけど、LED化についてもよろしくお願いいたしたいと思います。

4分ほどありますけど、私の質問は以上で終わります。どうもありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） これで、小田昭人君の質問は終わりました。

---

○議長（小川 廣康君） 以上で、本日予定しておりました市政一般質問は終わりました。

あすも引き続き、定刻から市政一般質問を行います。

本日はこれで散会とします。お疲れさまでした。

午後1時47分散会

---